

職業安定分科会雇用対策基本問題部会（第90回）

資料2

令和元年11月15日

高齢者の雇用に関する調査結果 【速報値】

60代の雇用・生活調査(個人調査)

調査概要

1. 調査の趣旨

独立行政法人労働政策研究・研修機構(JILPT)において、現行の高年齢者雇用安定法の下での高年齢者雇用確保措置の実施状況や高齢者の就業・生活に関する実態について把握するため、調査を実施。

2. 調査対象

60～69歳の者 全国で5,000人(個人を対象)

〔 60～64歳 男性 1,600人、女性1,100人
65～69歳 男性 1,400人、女性 900人 〕

3. 調査方法

① 抽出

住民基本台帳から層化二段系統抽出法によって抽出

② 調査方法

訪問留め置き法

③ 調査時期

2019年7月～8月。調査基準日は2019年6月1日。

4. 回答状況

有効回答数:2,883

有効回答率:57.7%

5. 調査結果の復元

調査結果の集計においては、本調査における有効回答について、平成30年住民基本台帳人口データにおける男女別・年齢階層別人口と同じになるよう、抽出率の逆数によるウエイトバック(復元)を行っている。

回答者の実人数と復元後の人数は次の表のとおりである。

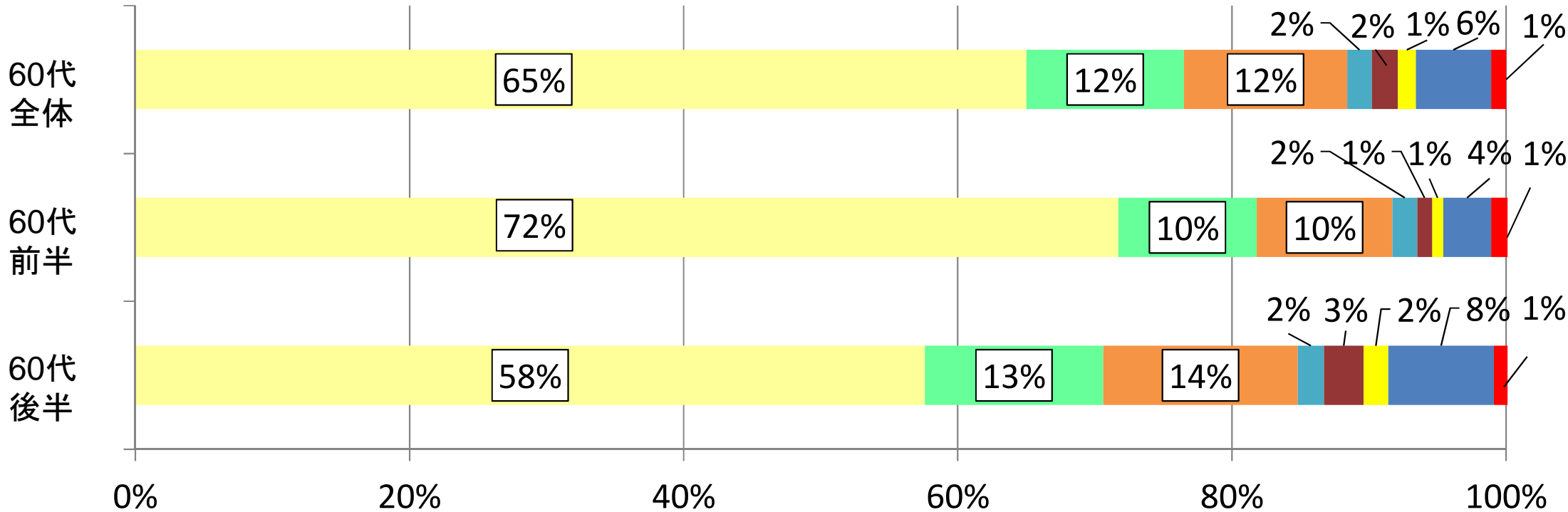
回答者の実人数と復元後の人数の対応表

		回答者実人数		復元後の人数	
		人数(人)	構成比(%)	人数(千人)	構成比(%)
60～69歳計		2,883	100.0	17,303	100.0
	60～64歳	1,590	55.2	7,634	44.1
	65～69歳	1,293	44.8	9,668	55.9
男性	60～69歳計	1,731	60.0	8,467	48.9
	60～64歳	934	32.4	3,780	21.8
	65～69歳	797	27.6	4,687	27.1
女性	60～69歳計	1,152	40.0	8,835	51.1
	60～64歳	656	22.8	3,854	22.3
	65～69歳	496	17.2	4,981	28.8

60歳代の高齢者の仕事の内容

○ 60歳代の高齢者の仕事の内容について、「会社、団体などに雇われて仕事をしてきた」と答えた方の割合は60代前半と60代後半で14%程度差がある。「商店、工場、農家などの自家営業(自営業主の場合をいいます)や自由業であった」と答えた方の割合は60代前半と60代後半で4%程度差がある。

◆60歳代の高齢者の仕事の内容 (単位:%)



- 会社、団体などに雇われて仕事をしてきた
- 会社、団体などの役員(会社経営、役員等)であった
- 商店、工場、農家などの自家営業(自営業主の場合をいいます)や自由業であった
- 近所の人や会社などに頼まれて、任意で行う仕事をしてきた
- シルバー人材センターを通じて仕事をしてきた
- 家庭で内職をしていた
- 家業(自家営業)の手伝いをしてきた
- 無回答

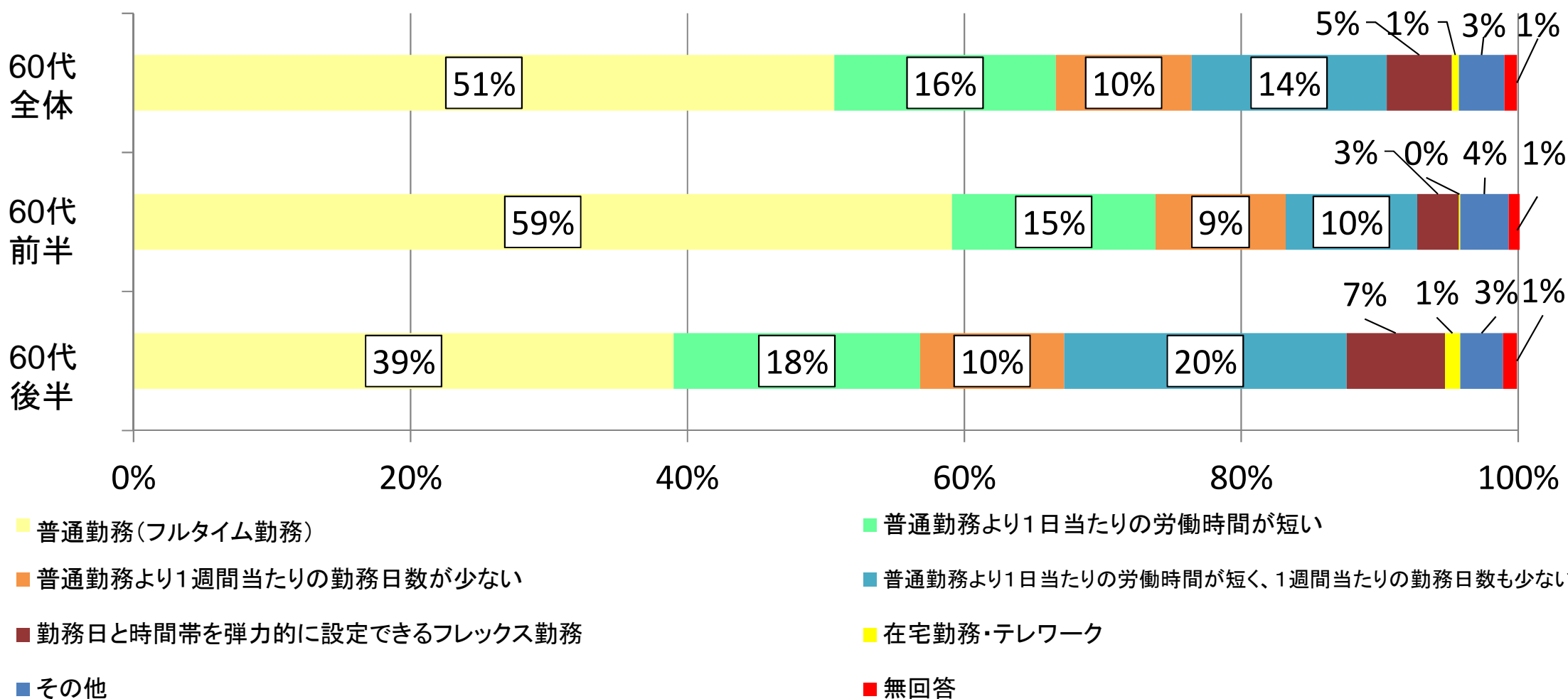
資料出所: 独立行政法人労働政策研究・研修機構「60代の雇用・生活調査」(2019年)【速報値】

※総数=60代全体: 10,201千人、60代前半: 5,359千人、60代後半: 4,842千人(抽出調査による有効回答について、抽出率の逆数による復元を行った後の人数)
2019年6月に収入になる仕事をしたと答えた者の回答(単数回答)

60歳代の高齢者の勤務形態

○ 60歳代の高齢者の勤務形態について、「普通勤務(フルタイム勤務)」と答えた方の割合は60代前半と60代後半で20%程度差がある。「普通勤務より1日当たりの労働時間が短く、1週間当たりの勤務日数も少ない」と答えた方の割合は60代前半と60代後半で10%程度差がある。

◆60歳代の高齢者の主な勤務形態 (単位:%)



資料出所: 独立行政法人労働政策研究・研修機構 「60代の雇用・生活調査」(2019年)【速報値】

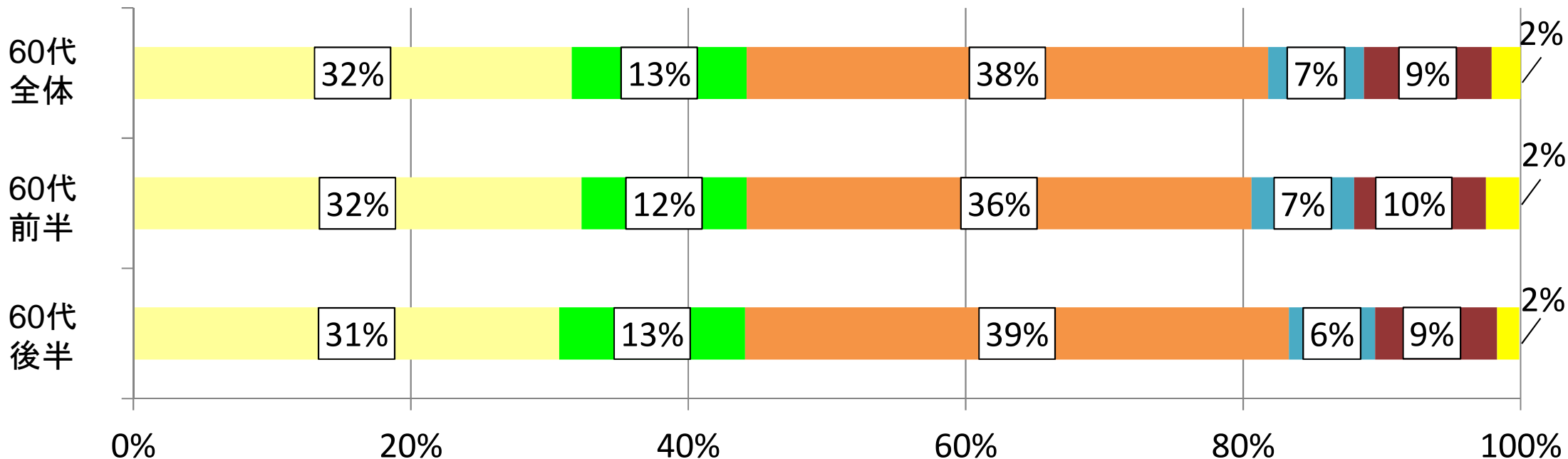
※総数=60代全体:6,630千人、60代前半:3,841千人、60代後半:2,788千人 (抽出調査による有効回答について、抽出率の逆数による復元を行った後の人数)

2019年6月に収入になる仕事をしたと答えた者のうち、会社、団体などに雇われて仕事をしてきた者の回答(単数回答)

60歳代の労働者の体力等の衰えに対する勤務先の配慮

○ 60歳代の労働者の体力等の衰えに対する勤務先の配慮について、60代前半と60代後半で差があまり見られない。

◆60歳代の労働者の体力等の衰えに対する勤務先の会社の配慮（単位：%）



■ 会社とは、仕事の内容について個人的に相談・面接する場が定期的なあり、その際、作業上の問題なども相談できるので、配慮してもらっている

■ 仕事の内容に関する個人的相談の場は特にないが、契約の年度更新などの際に申し入れれば、職場で用いる文字の大きさや補助器具の購入、作業の速度などについては、見直して(または検討して)くれている

■ 仕事の内容に関する個人的相談の場はあるが、体力や視力などの問題は個人的な問題として、特に配慮はしてもらえない

■ 会社側は何も配慮(対応)してくれないので、必要な作業機器や什器などは自分で揃えている

■ その他

■ 無回答

資料出所：独立行政法人労働政策研究・研修機構「60代の雇用・生活調査」(2019年)【速報値】

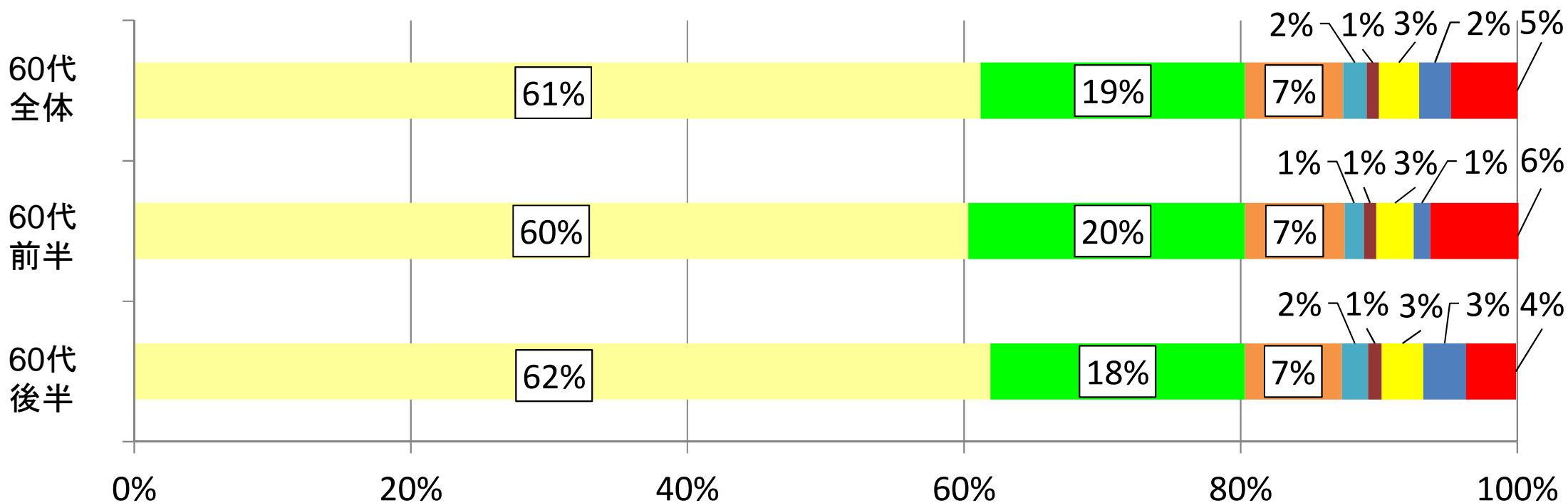
※総数＝60代全体：6,630千人、60代前半：3,841千人、60代後半：2,788千人（抽出調査による有効回答について、抽出率の逆数による復元を行った後の人数）5

2019年6月に収入になる仕事をしたと答えた者のうち、会社、団体などに雇われて仕事をしている者の回答(単数回答)

定年等の後の仕事をどのように見つけたか

○ 定年到達直後または定年前の早期退職直後に仕事をしていた方が、どのようにして仕事を見つけたかについて、60代前半と60代後半で差があまり見られない。

◆ 定年到達直後または定年前の早期退職直後、どのように仕事を見つけたか（単位：%）



- 勤務先の会社などで再雇用・勤務延長の形で働いていた
- 勤務先の会社から別の会社などをあっせんされて再就職した
- 内職・家業の手伝い、任意に行う仕事などをしていた
- その他

- 勤務先からのあっせんによらず別の会社などに再就職した
- 自ら事業を起こした
- 友人・知人から就職先を紹介された
- 無回答

資料出所：独立行政法人労働政策研究・研修機構「60代の雇用・生活調査」(2019年)【速報値】

※総数＝60代全体：4,666千人、60代前半：2,034千人、60代後半：2,631千人（抽出調査による有効回答について、抽出率の逆数による復元を行った後の人数）
最初の定年に到達した直後、または定年前に早期退職した直後に仕事をしていた者の回答（単数回答）